

<第155号>

事務局だより

平成28年3月10日発行

現在の会員数

合計 243名

(男性 163名)

(女性 80名)

□新年度会費の納入と就業希望調査書提出のお願い

3月14日以降に、地域班長が28年度会費の徴収と就業希望調査書の回収に伺いますので、ご協力をお願いします。就業希望調査書は、毎年提出していただくものですので、就業を希望する方は必ず提出してください。

【会費の額】

一般会員（就業を希望する会員） 3,500円

ゴールド会員（ボランティア活動等を希望する会員） 2,000円

【会費徴収期間】

3月14日（月） ～ 3月28日（月）

あなたのお宅へは、

3月 日 の 時頃に伺う予定です。

おつりのないようご協力ください。

都合が悪いとき、事務局へ支払ったときは、

（班長 ）（☎ - ）へ

お知らせください。

【お願い】

28年度も引き続き、「一会員一人獲得運動」を実施します。みなさんのお友達や知人、近所に60歳以上で働きたい、または人とのつながりを持ちたいという方はいませんか？ぜひ一声掛けて、ご紹介ください。ご協力をお願いします。

□理事長のつぶやき ～旅の恥は掻き捨て？～

昨年、円安を背景として 2,000 万人に近づいた日本への観光客だが、その 4 分の 1 は中国人が占め、外貨獲得の一翼を担ったことは承知のとおりである。

中国 14 億人（一説には 15 億人とも）の一部かもしれないが、平均 50 万円以上の爆買いツアーなどで金を遣ってくれるのは良いが、反面、建造物への落書きをはじめ、禁煙場所での喫煙、並んでいる列への強引な割り込み、更にはホテルのバイキングの持ち帰り等々ルール違反やマナーの欠如が指摘され、中国政府も対策に乗り出したとか。

中国の品の悪さをけなして来た小生だが、3 月 9 日付の東奥日報を見て唾然となった。その記事は『タイ中部のリゾート地フアヒンにあるホテルの浜辺で、社員旅行の日本人男性約 30 人が泥酔、全裸に。フアヒンは王室の由緒ある保養地で、タイ人の間で批判が噴出し、観光・スポーツ大臣が再発防止を呼びかける事態に発展。旅行社やホテルによると、日本企業に勤める男女の若者約 90 人が、5 日夜にホテルで飲食後、浜辺に出た一部の男性が全裸で海へ。タイ人添乗員が「王室ゆかりの地だから節度を保って」と再三注意したが、聞き入れなかった』というもの。

この記事を見て頭によぎったのが、昭和 50 年代の旅行ブームで各団体がこぞって海外旅行へ。特に世界のノウキョウさん（農協）と言われた農協ツアーも盛んで、世界の各地で一部の人が今回のようなマナー違反や痴態をやっていたことを思い出した。正に歴史は繰り返されるのかと思うと残念で堪らない。

中国は人口が多く、生活環境や教育環境が整っていないので仕方がない処もあるが、日本は武士道精神に基づいた礼節等をわきまえ、譲り合いや謙虚さなど、小さい時から躾や教育も行き届いていると思うと、日本人としての忸怩（じくじ）たる思いになったのは小生だけだろうか？

“旅の恥は掻き捨て、”という言葉もあるが、周囲に知っている人もいないし、長く居ることもないから普段やらないことを平気でやってしまう、後でしっぺ返しが来ることを忘れてはならないのである。

そういう小生も決して行儀の良い方ではないが、日本人としての矜持（きょうじ）だけは持ち続けたいと思っているこの頃だが・・・。

発行 公益社団法人黒石市シルバー人材センター

〒036-0306 青森県黒石市大字内町61番地1

TEL 0172-52-5131

緊急連絡先 080-6011-5131